

2/24(土)

10:00—
40分

イベントあり



閑上のさぐば ×ペルーのカバリト
閑上の木造小舟とペルーのアシ舟をつくる映像です。それぞれの手作業から、その土地の暮らしや背景が見えてきます。
「さぐば (short ver.)」
[撮影]林剛平 [撮影地]宮城県名取市閑上／南三陸町歌津、三陸沿岸
[撮影日]2016年5月-9月 [制作年]2018年
「アシ舟「カバリト」づくり」(無声映像) 関連上映
[提供]エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ／公益財団法人下中記念財団 [撮影地]北ペルー、西海岸 [撮影日]1962年

12:40—
5分



2011おんがく① (short ver.) ★
「2011年 思い出の音楽を教えてください」。2017年に開催された音楽フェス「APPI JAZZY SPORT」の会場内にて問いかけを実施し、付箋に書かれたことを声に起こしました。聞き取りは今後もさまざまな場所で継続予定です。
[制作]濱田直樹(うぶこえプロジェクト) [付箋記録]岩手県安比高原
[撮影地]宮城県仙台市 [制作年]2017年

12:45—
11分



Perfect world 関連上映
3.11から約二週間後の仙台市荒浜、津波で全壊した家の西側に、リビングに置かれていたピアノの無残な姿を見つけた。欠けてしまった鍵盤にピアノを弾く映像を投影することで、失われたものの回復を試みたインスタレーション作品の記録映像です。
[制作]佐藤那美(音楽家) [撮影地]宮城県仙台市若林区荒浜／山形県山形市 [撮影日]2011年3月27日、12月 [制作年]2018年

12:56—
45分



今日は市バスに乗って、荒浜へ
震災前は市営バスの終点停留所があった仙台市荒浜の深沼海岸。2016年冬、一台の市営バスが5年9ヶ月ぶりに海岸前に到着しました。これからも海辺のまちに人びとが行き交いますように。人も思いも満員に詰め込んだバスが、仙台駅から終点へと向かう道のりの記録映像です。
[企画]3.11オモイデアーカイブ＋佐竹真紀子
[撮影]酒井耕／佐藤正実／佐藤泰／わすれん！ [編集]田中裕介
[撮影地]宮城県仙台市 [撮影日]2016年12月11日 [制作年]2018年

14:00—
20分



遠会-女川身辺雑記-までの記録
関西に住む私達は、偶然足を運ぶことになった宮城県女川町の人びとや場所、出来事を長期的に映像で記録/上映する活動を2016年より始めました。今回は昨年開催した一回目の上映会までの活動を知っていただくとうと本上映に参加しました。
[撮影・編集]HACCA・薄荷(・今尾拓真／寺嶋剣吾)
[撮影地]宮城県女川町 [撮影日]2016-2017年 [制作年]2018年

2/25(日)

10:00—
100分



小国春熊獅2017
小国には春熊獅がある。3.11後、放射能の有無を調べるだけでは何か大事なものを見落とすのでは?と感じた研究者が、東北山間部の山衆の技術・知識の伝承の記録を試みる。昨年の「歩く、捌く、背負ってきて食べる」に引き続き、「見たものを言葉と身振りで伝える」映像です。
[撮影]林剛平 [撮影地]山形県小国町 [制作年]2018年

12:40—
9分



福島的光景+β
2013年の「福島的光景」の撮影日から、4年後の2017年、撮影した場所はどのように変わっているのだろうか。SEに合わせて、震災後の新聞記事から引用した二文字の言葉の朗読と合わせた映像です。
[監督]岩崎孝正 [朗読]きくちゆき [撮影地]福島区烏崎／小高区村上海岸／富岡町／楡葉町／飯館村／川俣町／葛尾村／田村市／浪江町 [撮影日]2013年-2017年 [制作年]2017年

13:05—
54分



バンテジーから3.11後の東北へ ★
インド仏教の最高指導者、佐々井秀嶺上人のことをナグプールの人々はバンテジーと呼ぶ。2017年3月11日の満月の夜、震災から二ヶ月後の日本を訪れた際の話と、東北の地に向けてのメッセージをバンテジーに聞きました。
[撮影]林剛平 [撮影地]インド、ナグプール
[撮影日]2017年3月11日 [制作年]2018年

14:15—
30分



小さな藍祭り
3.11後の農を模索する中で、藍作り、道具作り、場所作りなど活動の広がりを持ち始めた欲藍社が、「道具の発見」と「協同作業」がテーマの夏祭りを開催しました。大玉村で生まれたゴロゴロ染めやファッションショーなど、一緒に藍を育てたくなる記録です。
[撮影]林剛平／鈴木英伶那／欲藍社 [撮影地]福島県大玉村 [制作年]2018年

14:40—
50分



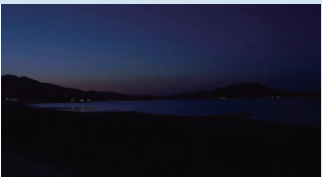
民話と震災体験(亘理郡山元町の庄司アイの語り[4]より) ★
定年退職後、みやぎ民話の会と出会い採訪活動を始めた庄司アイさん。東日本大震災では山元町で被災。津波に流されながら、今まで民話で聞いてきた事が「みんなあったことだった」と実感する。彼女が震災体験を経て語る、民話を語り継ぐということについての記録です。
[制作]みやぎ民話の会「民話 声の図書館」プロジェクトチーム
[撮影・編集]福原悠介 [撮影]酒井耕 [撮影地]宮城県角田市
[撮影日]2016年8月8日 [制作年]2018年

15:50—
3分



互盆松鹿楽
2016年5月、土地の物語りを伝え挑戦する必要性を表現する為に創造の聖地である巨石「五本松」から生み出した闇の舞「五本松神楽」。翌年封印し、2017年5月に新たに光の舞「互盆松鹿楽」を展開。いよいよ幕があがる。世界を視野に入れてさらなる高みへと進む。
[制作・演出]佐藤徳政 [撮影・編集]長崎由幹
[撮影地]岩手県陸前高田市高田町 [撮影日]2017年4月16日 [制作年]2018年

15:53—
15分



超絶祭2017-1次会「互行乃儀」
2017年5月、子供の日に想いを寄せて…。嵩上げが進む陸前高田、創造の聖地である巨石「五本松」をモチーフにした御興を担いで練り歩く。今しか感じる事が出来ない時間を、噛み締めながら「互盆松鹿楽」と共に。鯉が昇龍と成り、かけがえのない空間の演出映像です。
[制作・演出]佐藤徳政 [撮影・編集]長崎由幹
[撮影地]岩手県陸前高田市高田町 [撮影日]2017年5月3日 [制作年]2018年

16:25—
30分



新しい庭 ★
震災による地滑り被害で多くの住民が去った仙台市青葉区中山。たくさんの思い出の残る地に住み続けたいと自宅の再建を決意した記録者は、仙台では一般住宅に適用されたことのなかったアンダーピング工法を用います。2011年の震災発生直後から2015年まで、再建工事とその後の生活までを記録した映像です。
[制作]末武保政／末武二三子 [撮影地]宮城県仙台市青葉区中山
[撮影日]2011年-2015年 [制作年]2017年

17:15—
18分



根をほぐす
種苗店を営む佐藤貞一さんは、津波で自宅と店舗を失い、その跡地に自力でプレハブを建て営業を再開した。2016年、高台へ店を新設するため、震災後に続けてきた店舗を自らの手で解体していく。2013年から続けていた佐藤さんの記録の一篇です。
[制作]小森はるか [撮影地]岩手県陸前高田市
[撮影日]2016年6月 [制作年]2018年

17:33—
20分

イベントあり



In-Field Studioの試み -大地からHumanityを組み立て直す-
詩人R・タゴールが「人間性の恢復」を求めて学校を創設したインド東部シャンティニケタン。2017年この村で、建築家佐藤研吾が国際建築学校In-Field Studioを主催し民家の再建作業などの試みが行われました。人の手の届く範囲の営みから、復興や復旧について考えるきっかけとなる記録です。
[撮影・編集]林剛平／はしもとさゆり／佐藤研吾／In-Field Studio
[撮影地]インド、シャンティニケタン [制作年]2018年

15:00—
69分



Tango Karamarito
世界の中の小さな列島日本。そこで起った震災は、日本国外に暮らす人々に何を問いかけたのでしょうか。震災後の日本と関わり続ける人達の言葉と彼らが恋うJapanの風景を拾い集めてみました。
[監督]yako KIMURA [撮影地]イタリア、ベネチア／アメリカ、サンディエゴ／フランス、パリ、ナルボンヌ、トゥールーズ
[撮影日]2013年8月23日、9月21日、10月15日-21日 [制作年]2014年

16:30—
25分

イベントあり



福島県立相馬高校放送局制作映像作品
緊急時避難準備不要区域より/Girls Life in Soma /相馬高校から未来へ
相馬高校放送局は震災直後から作品を継続的に制作してきました。震災に対してその年ごとに抱いた思いを、大人の介入なしに作品にしています。震災時に福島県の高校生がどんな感情を抱いてたのかがよく伝わるという評価を多くの方にいただいています。
※「緊急時避難準備不要区域より」は音声ドキュメント作品です
[監督・撮影・編集]福島県立相馬高校放送局 [撮影地]福島県相馬市、福島市／宮城県仙台市／北海道札幌市／東京都内／長崎県長崎市／熊本県水俣市 [制作年]2011/2012/2013年

16:55—
58分

イベントあり



FUKUSHIMA: The silent voices 関連上映
福島第一原子力発電所の放射能事故から4年。福島市に住む作者の家族は穏やかな日常を再び取り戻したようでした。一方で、家族間での放射能汚染の話題はタブー化していました。フランスに住む作者は、もう一度家族とこの放射能事故について語り合いたいと故郷へ向かいました。
[監督・編集・ナレーション・制作]佐藤千穂 [監督・撮影・録音・制作]ルカ・リュ
[制作会社]Nautéin Prod [音響効果] ジョン＝パティス・サブ
[音楽] ディディエ・デウコ [アニメーション]コランタン・マッソン
[撮影地]福島県福島市 [撮影日]2015年2-3月、11-12月、2016年1月 [制作年]2017年